

一般社団法人 長野県作業療法士会



OTながの

No.240

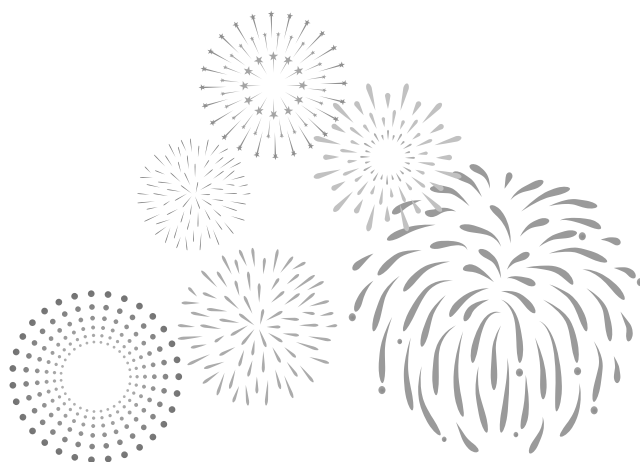
(社)長野県作業療法士会会報
2025.9.1 発行

～新しいよろこびを共にみつけていきたい～



CONTENTS

2	学術大会を終えて
4	リレー随筆 医療法人友愛会 千曲荘病院 高畑 恵未
5	職場紹介
6	理事会議事録



学術大会を終えて

長野保健医療大学 古川 智巳



第9回北関東信越ブロック
学会・第40回長野県作業療法
士学会が、7月19日(金)、20日
(土)の2日間にわたり、長野市
若里市民文化センターで開催

されました。2日間の延べ参加者数は約600名（1
日目320名、2日目280名）となり、市民公開シンポ
ジウムには市民の皆さんや学生の皆さんにもご参
加いただき、盛会のうちに終了することができま
した。

（一社）長野県作業療法士会としては節目とな
る第40回ということで、今回は例年より特別な気
持ちを込めて企画を行いました。久しぶりにレセ
プションを復活させ、新人歓迎会とあわせて、新
人からベテランまで多くの会員が一堂に会する貴
重な時間となりました。感染症のパンデミックに
より、これまで県士会の活動が見えづらくなっ
たり、同じ分野の仲間と直接顔を合わせる機会が減
ったりしていました。そこで今回は、教育分科会
や県士会報告ブースを設け、あらためて会員同士
がつながれる場をつくることを大切にしました。

特別講演や市民公開シンポジウムにも多くの方
が参加してくださり、地域や対象者への関わり方

に新たな視点を得る機会になったと感じていま
す。こうした学びが、日々の臨床や地域活動の幅
をさらに広げるきっかけになれば幸いです。

また今回は、初めて学会発表に挑戦する会員を
対象にした「発表支援プログラム」も実施しまし
た。7名の応募があり、約10か月かけて準備を進
め、4名が「デビューセッション」で、3名が「一
般演題」として発表されました。ポスター発表や
口述発表の場では、多くの参加者が足を止め、熱
心に耳を傾けていたのがとても印象的でした。皆
さんの姿から、学ぶ意欲や実践への想いが強く伝
わってきました。

運営を担った実行委員の多くも、教員以外は初
めての役割に挑戦するメンバーがほとんどでし
た。それぞれが試行錯誤しながら力を合わせ、円
滑な進行を支えてくれました。まさにチームでつ
くりあげた学会だったと思います。

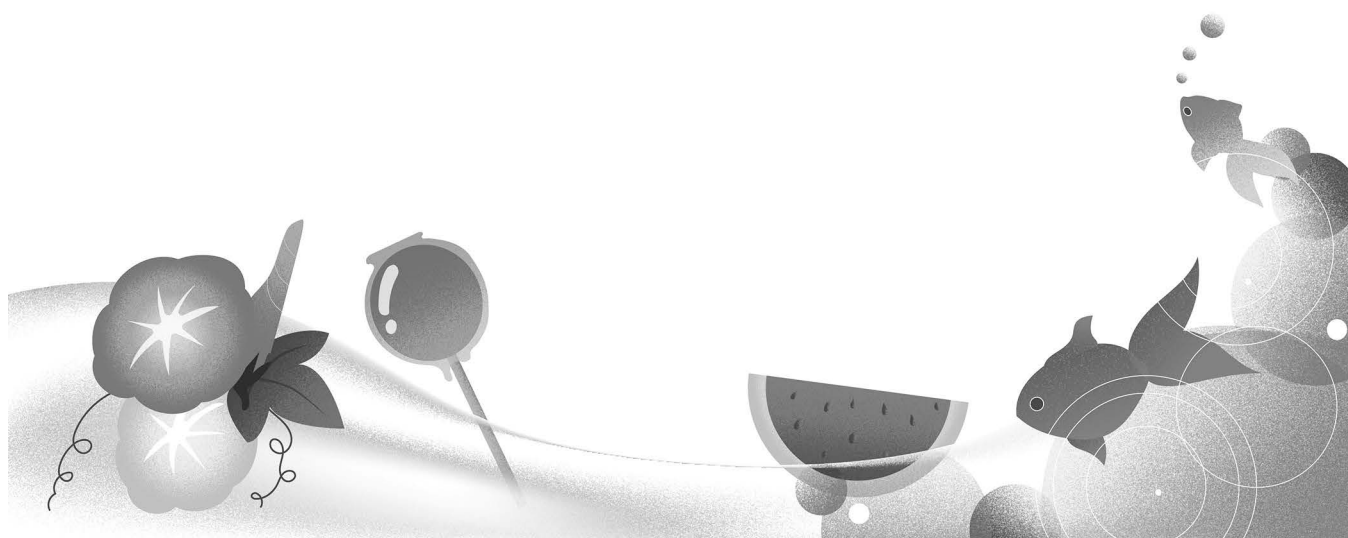
2日間は本当にあっという間でしたが、新たな学
びや出会い、そして何より「つながり」を感じら
れる、充実した時間だったのではないのでしょうか。

最後になりますが、ご参加いただいた作業療法
士の皆さん、市民の皆さん、機器展示にご協力い
ただいた企業の皆さま、後援をいただいた団体の





皆さま、そして尽力してくださった実行委員の皆さんに、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。これからも一緒に、作業療法の未来を創っていきましょう。



リレー随筆

千曲荘病院

中 澤 彩 織氏よりご紹介

「歩み」

医療法人友愛会 千曲荘病院

高 畑 恵 未

この場でこれまでの自分の経験や現在携わっている現場についてお伝えできることは光栄に思います。

はじめに、私の生い立ちから少しお話をさせていただきます。生まれは日本の反対側にあたるブラジルです。中学1年の時に日本に渡り、最初は日本語がまったく分からず、文化の違いに戸惑うことがありました。その後は、高校生の時に看護師を志そうと思ったこともありましたが、患者さんと1対1で関わり、さまざまな活動を一緒に経験することのできる作業療法に惹かれ、作業療法士を目指しました。埼玉県にある専門学校を卒業後、静岡・埼玉・東京と高齢期・総合病院まで身体障害を中心とした病院に勤務しました。それぞ

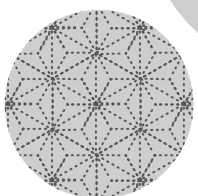
れで学ぶことが多く、さまざまな経験をする中で課題を見つけ、基礎を知りたい気持ちも強くありました。結婚を機に、長野県に引っ越し、子育てしながら心機一転、これまで自分が憧れ一度は目指した精神科に入職しました。現在勤務している千曲荘病院になります。

さて昨年までは外来作業療法と精神科急性期病棟での兼務でしたが、今年6月に精神科急性期病棟が48床↓60床へと増床され、現在はこちらで勤務しています。同病棟に認知症専用のクラスターが設けられ、1つの病棟にしながらも、統合失調症等の精神疾患、強度行動障害を伴う知的障害や認知症の患者さんの援助をしています。日々苦戦しながらも、楽しく、活動を模索しながら機能維持、悪化の防止、生活の再建を目指し関わっています。また強度行動障害については、昨年から



T C B (Tikumaso Challenging Behavior) ラウンドが開始し、医師・看護師・精神保健福祉士・作業療法士などの多職種からなるチームが結成され、知的障害のみならず、各病棟において問題行動のある患者さんを対象としたラウンドを行っています。このラウンドでは、問題となる行動に着目し、スケジュールの見直しや視覚支援を行いながら刺激の少ない環境から徐々に行動を拡大して評価していきます。またスタッフの対応や言動が統一されていない場合は問題解決にならないことがあるため、念入りに病棟スタッフとの連携を図っています。

これからも日々邁進しながら、患者さんの役に立てる作業療法を目指し、奮闘を続けます。



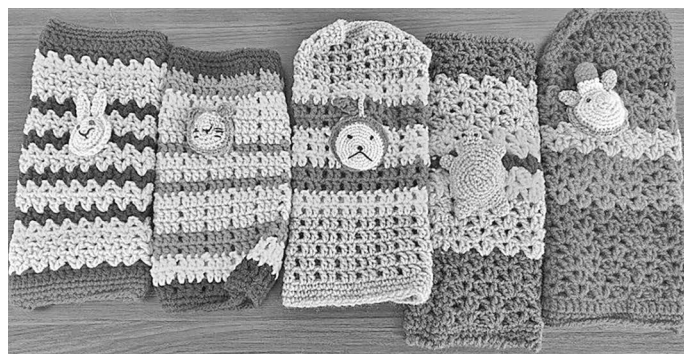
私の職場紹介 丸の内病院

当院は199床（一般床130床、地域包括ケア病棟58床、緩和ケア病棟11床）の中規模病院です。作業療法課は、14名が所属しており、リウマチ・手外科



班、急性期病棟、地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟、訪問の部門に分かれ、専門性の高い作業療法を実施しています。一人ひとりが、“自分発”のアイデアで新しい取り組みや自助具・スプリント開発など積極的に考えながら業務に取り組んでいます。

- ① リウマチ・手外科班では3名体制で入院・外来の手のリハビリテーションの領域を自由自在に駆け抜けています。なかでもスプリント療法では、年間500個以上手がけ、圧倒的な実績を誇ります。近年では共同研究で生まれたスパイダースプリント `yasaki、を臨床に導入、研究とのクロスオーバーで新たな価値を創出しています。（文責：藤井里咲子）
- ② 急性期病棟では整形外科、内科、外科、リウマチなど多岐に渡る診療



科を対象に5名が連携し、専門性を活かした支援を行なっています。多様な希望に応じた自助具の作製、環境調整から自己効力感の獲得を支援しています。認知機能低下などに対して認知症マフの感覚刺激を活用した非薬物的アプローチを取り入れ、安心感・情緒の安定を促しています。（文責：横山陸）

- ③ 地域包括ケア病棟では、様々な疾患を持つ患者様全員に個別介

入を行ない、多職種協働で退院支援を行なっています。活動量が低い患者様や認知機能低下のある方に、看護師と協力して集団リハビリも実施しています。昨年からは腱板断裂をはじめとする肩疾患の方へのOTを開始しました。

- ④ 緩和ケア病棟で従事するチームは、がんのリハビリテーション研修を修了した専門スタッフを中心に構成されています。患者様やご家族が、限られた時間の中でも「その人らしい一日」を過ごせるよう、身体的、精神的ケアを軸に日常生活の評価・練習、環境調整、自助具の提供、退院・外出・外泊サポートなど生活に根ざしたOTを他職種協働で行っています。（文責：牛丸憲史）



- ⑤ 訪問OTの対象は多岐に渡り、安全・快適に過ごせるよう、迅速に多職種と連携しながら対応しています。その中でもOTならではの `つくる力、を活かした支援を大切にしています。例えば、手指拘縮に対しては、訪問リハでもスプリントを作製したり、手の力を補う目的の爪切りをスプリント材で加工するなど、生活場面に即した工夫を行なっています。`生活の現場、だからこそ実現できる寄り添った作業療法を `つくる、を通じて機能だけでなく、生活全体を支える関わりを追求しています。（文責：小林梨恵）各チームが専門性を高めながら協力し合い、今後も発展していけるよう頑張ります！

理 事 会 議 事 録

一般社団法人長野県作業療法士会 第136回 理事会議

令和7年6月6日（金） Web対応

出席者

理事：傳田、阿久澤、荒井、高坂、中條、福田、西村、山田、飯島、湯本、村井、徳竹、池上
監事：中村、橋場、古川、鷹左右、奥原、森川

I. [会長挨拶]

JRATが動き出している。各部局も動き出している
るので無理なく対応してほしい。

II. [会議成立の報告]

III. [報告事項]

1. 事務局

- (1) 各種文書受理
- (2) 名刺について
- (3) 国スポについて
- (4) アビリテーズの印刷・製本についての進捗状況

2. 会員管理部：

- (1) 会員動向について
新規入会申込：14名、変更：9名、
退会：0名
2025年5月26日 現在
正会員数：1,339名（内、北信：316名
東信：31名 中信：326名 南信：379名）
施設数：250（2024年4月施設数：273）
自宅会員数：109名
賛助会員：6社（うち、個人1名）
- (2) 年会費について
- (3) 賛助会員への県士会HPへのリンクの貼り付けについて
- (4) 協会データベースについて
- (5) 以前にあった学術誌の配送に関する問題

について

3. 財務部：

- (1) 部内委員会の会計処理について
- (2) 会計担当者勉強会の開催について
- (3) その他

4. 学術研修部：

- (1) 第40回学術大会
 - ① 5月18日 会場打ち合わせ済み
 - ② 5月末時点、事前申込状況 55名（2日間参加25名、1日参加30名）
 - ③ 会員への6月発送の案内文書
 - ④ 抄録集作成中（まず講演内容や一般演題の抄録を除いたものをプログラム集として6月中旬に学会HPアップ予定、7月に抄録完成 → 県士会HPにパスワード付でアップ予定）
 - ⑤ 当日実行委員決定 → 依頼状発送予定
 - ⑥ 大会会場の看板の印刷を見積中（2社）
 - ⑦ 大会当日の保険について見積中（実行委員と参加者の2契約）
 - ⑧ 学術奨励賞（優秀演題賞）の対象者を検討中
 - ⑨ 歴代の抄録集の展示
- (2) 第41回学術大会
 - ① テーマ：OTだからできること～伝承と進化で育む確かな臨床力～
 - ② 開催地：箕輪町文化センター
 - ③ 講演：山本伸一協会長

5. 教育部：

- (1) 日本作業療法士協会 生涯教育制度
現職者共通研修 I
① 主催：一般社団法人 長野県作業療法士会 教育部
② 方法：オンライン会議システムZoomを使用
③ 研修日程：令和7年9月7日(日)
9：30～16：40
「作業療法生涯教育概論」
傳田拓男 OTR
「作業療法における協業・後輩育成」
池内由直 OTR
「職業倫理」
荒井留美子 OTR
「保健・医療・福祉と地域支援」
二宮彰浩 OTR
 - (2) 日本作業療法士協会 生涯教育制度
現職者選択研修
① 主催：一般社団法人 長野県作業療法士 教育部
② 方法：オンライン会議システムZoomを使用
③ 研修日程：令和7年11月16日(日)
9：30～16：40
講師
・佐藤正彬 OTR（信州大学）
・小林充 OTR（伊那中央病院）
・原田木の葉 OTR（飯田市立病院）
・近藤優樹 OTR（長野保健医療大学）
 - (3) 臨床実習指導者講習会 2025年度は1回
参加者募集およびファシリテーターの公募、選定中
6. 事業部：
今年度の公開講座、出前講座の企画・準備中。
7. 広報部：
5月11日、18日と高校生の職業説明、相談会

は9名参加。現在職業体験見学会の募集開始。
職業体験見学会の文書は発送し、HPにも掲載している。

らしくの掲載に向け、依頼文書を準備出来次第発送していく。

8. 渉外部：

JRAT会議へ参加。今年の後半で研修会開催予定。

9. 福利部：

(1) 福祉用具

長野工業高等専門学校のワークショップ開催。

日時：8月 2日(土) 13：00～16：00

会場：長野工業高等専門学校

(2) 新入会員歓迎研修会

研修会のスケジュールについて。

・部局紹介・説明を希望する部局は福利部までお知らせください。資料のデータを福利部まで送ってください。当日配布します。

(3) 求人：0件

10. 委員会：

*表彰委員会：

古川学会長に表彰式日程を確認 7月20日(日)閉会式後15：35以降に開催へ。

名誉会員代表1名の方に傳田会長より対面で授与（残りの受賞者は名前の読み上げのみ）

11. その他：

(1) 認知症委員会

映画イベントを行ったりしながら啓発活動を行ってきた。松本市からも依頼があり信州オレンジサミットを開催している。本年度のイベントに対して4万円捻出したいと考えている。

→4万円に関しては、学術研修部の会計に相談していただく。

理 事 会 議 事 録

一般社団法人長野県作業療法士会 第137回 理事会議

令和7年6月23日（月） Web対応

出席者

理事：傳田、荒井、清野、高坂、中條、福田、西村、山田、飯島、湯本、村井、徳竹、池上
監事：古村、中村、古川、佐藤、鷹左右

I. [会長挨拶]

総会前に資料の確認をしながら対応したい。

II. [会議成立の報告]

III. [報告事項]

1. 事務局

(1) 各種文書受理

(2) その他：

- ・長野県歯科衛生士会から第21回県民公開講座への後援について
- ・第18回日本在宅薬学会学術大会後援名義使用について
- ・リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025信州長野の後援について
- ・第64回農村医学夏季大学講座の開催について

2. 会員管理部：

※現在更新作業中につき、会員動向は前回の情報のまま。

(1) 会員動向について（2025年5月26日 現在）

正会員数：1,339名（内、北信：316名

東信：318名 中信：326名 南信：379名）

施設数：250（2024年4月施設数：273）

自宅会員数：109名

賛助会員：6社（うち、個人1名）

(2) 年会費について

(3) 賛助会員への、県士会HPへのリンクの貼り付けについて

(4) 当部局について：変更届・退会届担当者が、7月いっぱい退職。それに伴い部局員の任を解くこととなった。

(5) 会員管理部使用の法人契約のスマホの買い換えが終了となった。

3. 財務部：

6月25日(水)勉強会を開催予定。

4. 学術研修部：

(1) 務台先生に著作権の検討を依頼中

(2) 第40回学術大会

① 6月15日時点で事前申込数は123名。

② レセプション参加数は23名（うち新人10名）

5. 教育部：

臨床実習指導者会議について申し込みの際に日付が違うとの問い合わせがあった。

6. 渉外部：

(1) POST連絡協議会にて

① 県との協定：8～9月締結予定。

② HUG研修会：9月に相澤病院で開催予定。

③ LINEオープンチャットを使用した情報

収集訓練：8月30日(土) 9：00～10：00

④ 座学研修：10月以降開催予定 講師ス

ケジュール調整中。

(2) 岡谷市役所健康推進課より後援依頼あり。

7. 福利部：

7月19日(土)10：00～12：00の新人歓迎研修会のタイムスケジュールを訂正。

8. 地区部：

地域包括ケアシステム委員会から講師依頼の文書について

9. 委員会：

＊表彰委員会：

① 表彰者への案内文書を事務局から発送依頼。

(データを事務局へ送付済み)

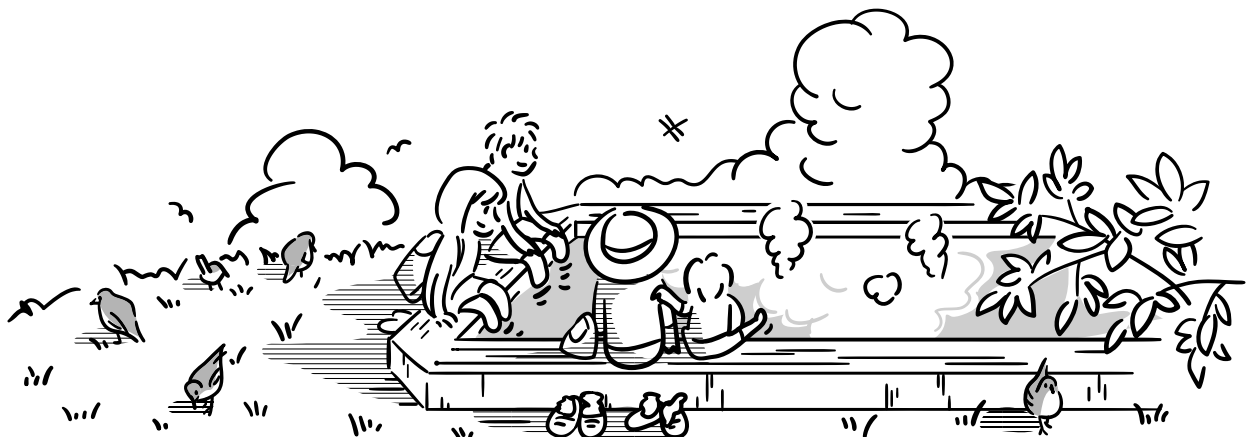
② 前回の会費未納の表彰者は期日の6月9日までに支払いが確認できなかったため除外。

③ 7月20日(日)15：35～表彰式段取りを古川学会長に確認済。

④ 記念品、表彰状発注済み

10. その他：

総会資料について



賛 助 会 員 名 簿

フランスベッド株式会社
長野営業所〒381-2221
長野県長野市稲里町下氷鉤492-2
TEL 026 (284) 8380

マツイ商会有限会社

〒390-0827
長野県松本市出川2丁目19-6
TEL 0263 (87) 2255ミナト医科学株式会社
新潟営業所〒950-0923
新潟県新潟市中央区姥ヶ山1-4-15
TEL 025 (286) 8225アビリティーズ・
ケアネット株式会社
松本営業所〒399-0005
長野県松本市野溝木工1丁目9番34号
TEL 0263 (25) 0761医療法人 元山会
介護老人保健施設
ロングライフ塩尻〒399-0711
長野県塩尻市広丘高出1614-1
TEL 0263 (53) 8522

編集後記

今年の夏は異例な暑さでしたね。連日37℃、38℃と高温が続き、クーラーの効いた部屋から出た時の気温差で身体がおかしくなりそうでした。高齢者、幼児には本当に危険な暑さだなと感じています。物価高の影響で電気代も高いですが、どうか適切に冷房を使っていただき、自分や家族の健康を守るようにしてほしいと思います。

そして9月号が皆さんのお手元に届く頃には秋らしい気温になってくれていることを願っています。

一般社団法人 長野県作業療法士会



OTながの

年6回奇数月1日発行

発行人：傳田拓男

編集人：山崎竜太／編集委員：越山直美、小林奈々恵、川口悠輔

印刷：P O印刷株式会社

求人広告窓口

こころの医療センター駒ヶ根

E-mail:tada-koto-r@nagano-pref-hosp.jp 福利部求人担当 多田

問い合わせ先

JA 長野厚生連 南長野医療センター 新町病院 リハビリテーション科

TEL:026-262-3111 FAX:026-262-3411 E-mail:reha.sinmachi@kou.nn-ja.or.jp

発行所

脳梗塞リハビリステーション長野

〒380-0935 長野市栗田 244-2

一般社団法人 長野県作業療法士会事務局 TEL:080-9991-7380